

(参考) 2020年東京オリパラ道産食材供給に向けた取組

- ◆ 2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会は、北海道の安全・安心な農林水産物をPRする絶好の機会
- ◆ 同大会への食材供給を通じて、国内外の方々に、道産農林水産物の評価をいただき、今後の輸出拡大を含めた販路の拡大に資する

食材の調達基準（平成29年3月大会組織委員会公表）

食材の安全確保や環境・生態系の保全、作業者の労働安全確保などの要件を満たすものとして、次のような認証等が必要

区分	農産物	畜産物	水産物
要件を満たすことを示す主な方法	<ul style="list-style-type: none"> ・JGAP Advance(現ASIAGAP) ・GLOBALG.A.P. ・組織委員会が認める認証スキーム(注1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・JGAP ・GLOBALG.A.P. ・「GAP取得チャレンジシステム」に則って生産され、第三者による確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・MEL、MSC、AEL、ASC(注2) ・資源管理計画に基づく漁業 ・漁場改善計画で管理されている養殖

(注1) 組織委員会が認める認証スキームとして、JGAP(旧JGAP Basic)が認められている

(注2) MEL(マリン・エコラベル・ジャパン) = 日本の漁業の水産エコラベル認証(運営: マリン・エコラベル・ジャパン協議会)

AEL(アQUALチャー・エコラベル) = 日本の養殖業の水産エコラベル認証(運営: 日本食育者協会)

MSC = 海外の漁業の水産エコラベル認証(運営: 海洋管理協議会(本部: イギリス))

ASC = 海外の養殖業の水産エコラベル認証(運営: 水産養殖管理協議会(本部: オランダ))

(参考) 2020年東京オリパラ道産食材供給に向けた取組

< 推進体制 >

『2020年東京オリンピック・パラリンピック道産農林水産物供給北海道協議会』

【平成29年6月9日 設置】

構成メンバー

- ・北海道農政部 食の安全推進監(会長)
- ・北海道農業協同組合中央会 常務理事(副会長)
- ・ホクレン農業協同組合連合会 専務理事(監事)
- ・北海道きのこ生産・消費振興会 会長
- ・北海道漁業協同組合連合会 代表理事専務(監事)

事務局：北海道農政部食の安全推進局食品政策課

事業内容

- 道産農林水産物の供給に関する情報共有
- 道産農林水産物の供給に向けたPR活動等